

基本設計業務委託特記事項

1 特記事項の適用

本基本設計業務委託特記事項（以下「特記事項」という。）で、印及び■印の付いた項目については、■印の付いた項目を適用する。また、特記事項に記載されていない事項は、「設計業務委託仕様書」による。

1. 1 件 名 首都大学東京（日野キャンパス）新棟（仮称）新築基本設計（R元）

1. 2 委託場所 東京都日野市旭が丘六丁目6番地.....

1. 3 契約期間 契約締結日から平成32年3月23日まで.....

1. 4 委託業務内容

設計の概要（設計委託に当たり想定する内容）

工学分野の最先端研究に追従し、かつ、産学連携を推進する機能を備えた高度な教育・研究施設の整備

用途.....：講義室・実験室・研究室・大学院生室・産学連携関連施設他.....

規模・構造：延床面積9,990㎡ 鉄筋コンクリート造5階～6階建.....

■新改築・増築工事

.....新築工事.....

.....構造内容：構造設計に相当影響のある軟弱地盤や高低差 あり ■なし

.....アトリウム・ピロティの計画 ■あり なし

.....空調設備：中央管理方式 ■あり なし

.....消防設備：スプリンクラー設備 ■あり なし

■改修工事 ■設備改修工事 ■解体工事

.....今回の建設に伴い必要となる既存施設の改修・解体.....

.....既存図面の有無： 紙図面あり ■一部CADデータあり 既存図面なし

.....積算に使用できる既存数量調書・内訳明細書： あり ■なし

.....事業を継続させながら行う工事： 対象 ■非対象

.....発電設備： ■あり なし

.....空調設備： ■あり なし

.....昇降機設備： ■あり なし

.....簡易な外壁等改修工事対象棟： あり ■なし

.....解体・グラウンド整備等工事： ■あり なし

.....空調設備：中央管理方式 ■あり なし

.....消防設備：スプリンクラー設備 ■あり なし

その他

.....地中障害（旧建物の杭等）あり.....

告示第 15 号の建築物の類型

.....大学.....

予定工事費

.....未定.....

建設予定工期

.....平成 33 年 4 月から平成 34 年 3 月まで.....(一部外構等は平成 34 年度を想定).....

2 設計業務の内容

設計業務の内容は、下表に掲げる業務内容に基づきアからオとする。

また、設計成果物は、別表 1 のとおりとする。

項 目		業 務 内 容
(1) 設計条件等の整理	① 条件整理	耐震性能・設備機能の水準など、建築主から提示される様々な要求その他の諸条件を設計条件として整理する。
	② 設計条件変更等の場合の協議	監督員から提示される要求の内容が不明確若しくは不適切な場合、内容に相互矛盾がある場合又は整理した設計条件に変更がある場合においては、監督員に説明を求め又は監督員と協議する。
(2) 法令上の諸条件の調査及び関係機関との打ち合わせ	① 法令上の諸条件の調査	基本設計に必要な範囲で、建築物の建築に関する法令及び条例上の制約条件を調査する。
	② 建築確認申請に係る関係機関との打ち合わせ	基本設計に必要な範囲で、建築確認申請を行うために必要な事項について関係機関と事前に打合せを行う。
(3) 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況の調査及び関係機関との打合せ		基本設計に必要な範囲で、敷地に対する上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況等を調査し、必要に応じて関係機関との打合せを行う。
(4) 基本設計方針の策定	① 総合検討	設計条件に基づき、様々な基本設計方針案の検証を通じて、基本設計をまとめていく考え方を総合的に検討し、その上で業務体制、業務工程等を立案する。
	② 基本設計方針の策定と監督員への説明	総合検討の結果を踏まえ、基本設計方針を策定し、監督員に対して説明する。
(5) 基本設計図書の作成		基本設計方針に基づき、監督員と協議の上、基本設計図書を作成する。
(6) 概算工事費の検討		基本設計図書の作成が完了した時点において、当該基本設計図書に基づく建築工事に通常要する費用を概算し、工事費概算書(工費費内訳明細書、数量調書を除く。以下同じ。)を作成する。
(7) 基本設計内容の監督員への説明等		基本設計を行っている間、監督員に対して、作業内容や進捗状況を報告し、必要な事項について監督員の意向を確認する。また、基本設計図書の作成が完了した時点において、基本設計図書を監督員に提出し、監督員に対して、設計意図(当該設計に関する設計者の考え。以下同じ。)及び基本設計内容の総合的な説明を行う。

必要な項目は、以下のアからオまでに掲げるもののうち■印のものとする。

ア 次に掲げるものを内容とする計画説明書及び設計概要書の作成

- 建築（意匠）の計画概要及び設計概要
- 建築（構造）の計画概要及び設計概要
- 設備の計画概要及び設計概要
- 仕様概要書及び仕上げ表
- 設計経過

- 工事費概算書
- 工程計画の概要（工事予定工程表含む）
 - 新築・改築・増築における工事予定工程表の作成に当たっては、（一社）日本建設業連合会の建築工事適正工期算定プログラム（Ver.2）に基づき作成する。
 - 建物の用途・規模・施工条件等により適切に工事予定工程表を作成する。

イ 次に掲げるものを内容とする基本設計図の作成

- 実施設計の基本となる配置図、各階平面図、立面図、断面図及び設備概要図

ウ その他基本設計に必要な業務

- 環境配慮チェックシートの作成
- 省エネ・再エネ東京仕様導入表の作成
- リサイクル計画書の作成
- 「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」（最新版を適用のこと）に基づく（ア）から（ウ）までのチェックリストを作成（リサイクル計画書に添付）し、あらかじめ監督員に説明を行い、確認を受けた上で提出しなければならない。
 また、環境物品等（特別品目）使用予定チェックリスト（財務局最新年度版）において、「原則として使用する品目」については、これを使用した設計を原則とする。
 - （ア）環境物品等（特別品目）使用予定チェックリスト（財務局最新年度版）
 - （イ）環境物品等（特定調達品目）使用予定チェックリスト（財務局最新年度版）
 - （ウ）環境物品等（調達推進品目）使用予定チェックリスト（財務局最新年度版）
- 都立建築物のユニバーサルデザイン導入計画書【基本設計】の作成
- 都立建築物のユニバーサルデザインチェックリストの作成
- 景観配慮計画書の作成
 - 新築・改築・増築設計における景観配慮計画書の作成に当たっては、以下の基準に基づき作成する
 - ① 景観に配慮した都立建築物のあり方報告書（東京都財務局）
 - ② 公共事業の景観づくり指針（東京都都市整備局）
 - ③ 大規模建築物等景観形成指針（東京都都市整備局）
- 設計内容の適正化及びコスト管理チェック表《基本設計》の作成
- 「都有施設環境・コスト評価システム」等による環境性能評価書の作成
- 設計レビューへの協力業務（別記による）
- 打合せ記録簿の作成
- 公共建築設計者情報システムの登録書（写し）
- 成果品の電子データを収めた CD-R の作成

エ 追加業務

- 透視図の作成（アルミフレーム額入り）
 - 外観（周囲の街区等の景観を含む。）鳥瞰図...3...枚、見上げ図...1...枚
 - 内観...5...枚（サイズ...A2...、特記事項.....）
- 模型製作
 - 縮尺（1/2.0.0）、主要材料（スチレンボード、色紙・デザイン紙貼り）
 - ケースの有無（有）材質（アクリル樹脂）

■ 省エネルギー計算書の作成（モデル建物法 BPI_m/BEI_m）

300 m²以上の新築、改築

設計 VE への協力業務（別記による）

.....

オ 特別依頼業務

石綿含有分析調査

材料の種類	箇所数	備考

.....

3 現場実態の把握

受託者は、設計に当たり、設計の対象となる敷地や現況建物、近隣等の調査を行うとともに、既存図面やしゅん功図書等を確認し、現場の実態を十分に把握の上、設計に反映しなければならない。

特に改修工事や解体工事等におけるアスベスト含有建材の有無については、現場や既存図面等を十分に調査の上、設計に反映するものとし、別に分析調査等が必要な場合は監督員と協議すること。

4 プロポーザル方式により設計業務を受託した場合の業務履行体制

受託者は、プロポーザル方式により設計業務を受託した場合には、技術提案書により提案された履行体制により当該業務を履行すること。

5 適用基準等

受託者は、次に示す基準等に基づき設計業務を実施するものとし、これ以外の基準等を適用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を得なければならない。（各基準類の制定年月日については、監督員と打合せること。）

ア 共通（建築・電気設備・機械設備）

- ・ 公共建築物整備の基本指針（財務局）
- ・ 東京都建設リサイクルガイドライン

イ 建築

- ・ 東京都建築工事標準仕様書
- ・ 構造設計指針・同解説（財務局）

ウ 電気設備

- ・ 東京都電気設備工事標準仕様書

エ 機械設備

- ・ 東京都機械設備工事標準仕様書

6 成果物等及び提出部数

設計業務の成果物等及び提出部数は別表 1 による。

別表1 (設計成果物納品リスト)

成 果 物 等	部 数	電子データ	備 考
■基本設計書(別表2に掲げる成果図書)製本	10部	○	
■基本設計書概要版	10部	○	
■環境配慮チェックシート	1部	○	
■省エネ・再エネ東京仕様導入表	1部	○	
■リサイクル計画書	1部	○	
■環境物品等チェックリスト	1部	○	
■都立建築物ユニバーサルデザイン導入計画書【基本設計】	1部	○	
■都立建築物ユニバーサルデザイン 導入チェックリスト	1部	○	
■景観配慮計画書	1部	○	
■設計内容の適性化及びコスト管理チェック表《基本設計》	1部	○	
□「都有施設環境・コスト評価システム」等による環境性能評価書	部	○	
□設計レビュー資料	部	○	
■打合せ記録簿	1部	○	
■PUBDIS 登録書(写し)	1部	○	PDF
■成果品の電子データを収めたCD-R	2部	○	
■透視図	1部	○	
■模型	1部		
■省エネルギー計算書	1部	○	
□設計VE資料	部	○	
	部		
	部		
	部		

※ 必要な成果品の部数を記入し、電子データが必要なものは○印をつける。

別表2（基本設計書）

設計の種類		成果図書
(1) 総合		①計画説明書 ②設計概要書 ③仕上表（概略） ④面積表及び求積図 ⑤案内図 ⑥配置図 ⑦平面図（各階） ⑧立面図 ⑨断面図 ⑩透視図の写し（鳥かん・外観・室内等で作成の場合） ⑪設備計画図 ⑫工事費概算書 ⑬工事予定工程表
(2) 構造		①構造計画説明書 ②構造設計概要書 ③工事費概算書
(3) 設備	(i) 電気設備	①電気設備計画説明書 ②電気設備設計概要書 ③工事費概算書 ④各種技術資料
	(ii) 給排水衛生設備	①給排水衛生設備計画説明書 ②給排水衛生設備設計概要書 ③工事費概算書 ④各種技術資料
	(iii) 空調換気設備	①空調換気設備計画説明書 ②空調換気設備設計概要書 ③工事費概算書 ④各種技術資料
	(iv) 昇降機等	①昇降機等計画説明書 ②昇降機等設計概要書 ③工事費概算書 ④各種技術資料
(4) その他		①その他検討資料

(注)

- 1 建築物の計画に応じ、作成されない図書がある場合がある。
- 2 「総合」とは、建築物の意匠に関する設計並びに意匠、構造及び設備に関する設計をとりまとめる設計を、「構造」とは、建築物の構造に関する設計を、「設備」とは建築物の設備に関する設計をいう。
- 3 「①計画説明書」は、設計趣旨及び計画概要に関する内容。
- 4 「②設計概要書」は、仕様概要及び設計方針（各種比較検討等の検証含む）に関する内容。
- 5 (2) 及び (3) に掲げる成果図書は、(1) に掲げる成果図書に含まれる場合がある。
- 6 「(iv) 昇降機等」には、機械式駐車場を含む。